

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

潤いを創造し豊かさに貢献する。自然、社会、心の豊かさに貢献していく。

ROE
10%以上

事業利益成長率
10%程度

海外売上高CAGR
10%程度

EBITDA CAG
10%程度

2 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオ最適化

市場環境、強み、サステナビリティ、収益性、シナジー、リソース配分の視点から事業を考察。不動産事業のオフバランス化により成長投資を加速。

3. 海外成長戦略

SAPPORO PREMIUM BEERのマーケティング強化。米国では提携検討、ベトナムではカールスバーグ社と協業拡大。低・無糖茶カテゴリーをシンガポール・マレーシア中心に強化。

2. 国内ビール強化

黒ラベル、エビスへの集中投資。RTDでは濃いめブランド、ノンアルコール、レモンカテゴリーの開発強化。国内ビールシェア25%、利益率10%以上を2030年目標。

4. DX推進

2023年までにDX・IT基幹人材900名育成。2025年1月にSAPPORO DATA FACTORYの運用開始、2月に生成AIツール導入。

3 対処すべき課題

① 事業計画推進とモニタリング

- 各事業セグメントの構造改革・成長戦略の進捗を取締役会等で綿密にモニタリング
- 計画達成の蓋然性に対する信頼性向上のため、ステークホルダーへの具体的・わかりやすい情報開示を強化

② サステナビリティ経営推進

- スコープ1,2は2030年42%削減（2026年21%削減）を目標
- スコープ3は2030年25%削減（2026年12.5%削減）を目標（SBT認定済）
- 女性役員比率・女性管理職比率12%以上を目指す

③ 財務安全性の確保

- 格付A格を維持し、営業キャッシュフローとのバランスを重視
- DOE3%以上を目安に、2030年までにDOE4%以上を目指す
- 海外投資を優先しつつ、M&A等の成長投資機会に機動的対応

面接で使えるポイント

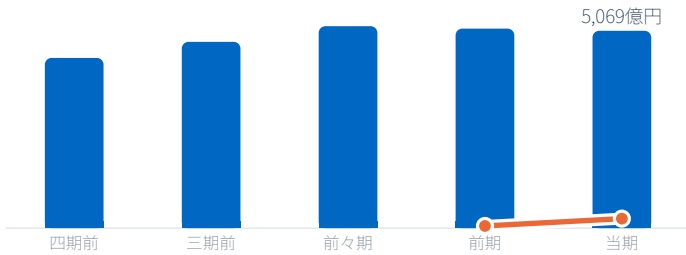
- 創業150周年を迎えるサッポログループは、黒ラベル・エビスへの集中投資と新市場開拓で国内ビールシェア25%を目指す
- 2026年7月の事業持株会社体制移行により、国内・海外の2事業本部体制でグローバルな経営効率化と成長を加速させる計画
- DX・IT人材900名育成やSAPPORO DATA FACTORYの運用開始により…

サッポロホールディングス株式会社

食料品 | プライム（内国株式） | 決算期 12月31日 | 連結…

証券コード 2501

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
5,069億円

営業利益率
4.8%

財務健康度
36点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,014万円
食料品内 5位/120社

平均年齢
44.8歳
食料品内 13位/121社

平均勤続
18.5年
食料品内 11位/121社

女性管理職
0.0%
食料品内 104位/106社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

食品業界の上場企業であり、連結売上5,069億円

主力事業・セグメント

- ・AlcoholicBeverag 79.0%
- ・食品・SoftDrinks 21.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高5,069億円の事業規模
- ・平均勤続18.5年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: サッポロホールディングスの海外2社に不正アクセス

サッポロホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

